		頭頸部	癌			
レジメン番号	レジメン名	抗癌剤(一般名)	抗癌剤(商品名)	用量	用法	1クール
S1	シスプラチン+放射線	シスプラチン	シスプラチン	80mg/ <b>m</b> ²	DAY1	21日
S2	カルボプラチン+放射線	カルボプラチン	カルボプラチン	AUC 1.5	DAY1, 8, 15, 22	28日
S3	FP療法	シスプラチン	シスプラチン	80mg/ <b>m</b> i	DAY1	
		フルオロウラシル	5FU	800mg/ <b>m</b> i	DAY1	28日
S4	TPF療法	ドセタキセル	ドセタキセル	60mg∕ <b>m</b> i̇́	DAY1	
S41	TPF療法(ショート)	シスプラチン	シスプラチン	70mg/ <b>m</b> ²	DAY1	
		フルオロウラシル	5FU	750mg/ <b>m</b> ²	DAY1-5	21日
S5	アービタックス【毎週】+放射線	セツキシマブ	アービタックス	250mg/ <b>m</b> ²	DAY1	
S51				初回400mg/ <b>㎡</b>		7日
S52	アービタックス【2週毎】+放射線	セツキシマブ	アービタックス	500mg/ <b>m</b> i	DAY1	
						14日
S6	アービタックス+FP療法	セツキシマブ	アービタックス	250mg/ <b>m</b> ²	DAY1, 8, 15	
S61				初回400mg/mੈ		
		シスプラチン	シスプラチン	100mg/ <b>m</b> ²	DAY1	
		フルオロウラシル	5FU	1000mg/ <b>m</b> ²	DAY1-5	21日
S613	アービタックス + CBDCA + 5 - FU	セツキシマブ	アービタックス	250mg/m <sup>2</sup>	DAY1, 8, 15	
				初回400mg/mੈ		
S6131		カルボプラチン	カルボプラチン	AUC=5	DAY1	
		フルオロウラシル	5FU	1000mg/ <b>m</b> ²	DAY1-5	21日
S62	アービタックス維持療法【2週間毎	セツキシマブ	アービタックス	500mg/ <b>m</b> i	DAY1	
						14日
S7	アービタックス+PTX	セツキシマブ	アービタックス	250mg/ <b>m</b> ²		
S71				初回400mg/ <b>m</b> i	DAY1,8,15,22	
		パクリタキセル	パクリタキセル	80mg/ <b>m</b> i		28日
S8	オプジーボ単独(2週毎)	ニボルマブ	オプジーボ	240mg/Body	DAY1	
						14日
S81	オプジーボ単独(4週毎)	ニボルマブ	オプジーボ	480mg/Body	DAY1	
						28日

	唾液腺癌									
レジメン番号	レジメン名	抗癌剤(一般名)	抗癌剤(商品名)	用量	用法	1クール				
S91	カルボプラチン+パクリタキセル	カルボプラチン	カルボプラチン	AUC=6	DAY1					
	<u>【3週間毎】</u>	パクリタキセル	パクリタキセル	200mg/ <b>m</b> ²		21日				
S92	カルボプラチン+ドセタキセル	カルボプラチン	カルボプラチン	AUC=5	DAY1					
	【3週間毎】	ドセタキセル	ドセタキセル	70mg/ <b>m</b> ²		21日				
S95	ハーセプチン+ドセタキセル療法	ハーセプチン	トラスツズマブ	6mg/kg	DAY1					
S951				(初回8mg/kg)						
		ドセタキセル	ドセタキセル	70mg∕ <b>m</b> i̇́	DAY1	21日				

	悪性黒色腫								
レジメン番号	レジメン名	抗癌剤(一般名)	抗癌剤(商品名)	用量	用法	1クール			
X1	<u>オプジーボ+ヤーボイ</u>	ニボルマブ	オプジーボ	80mg/body	DAY1				
		イピリムマブ	ヤーボイ	3mg∕kg	DAY1	21日			
X2	オプジーボ単独(2週間毎)	ニボルマブ	オプジーボ	240mg/body	DAY1				
						14日			
ХЗ	オプジーボ単独(4週間毎)	ニボルマブ	オプジーボ	480mg∕body	DAY1				
						28日			

			レジメン名(略号)			1
		シス	プラチン+放身	付線		
	抗癌剤		1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	シスプラチン		80mg/m²	DIV	3時間	day8
2						
3						
4						
5						
1 🗆	ース期間(次コースまでの期間) 休薬の規定		35日間		総コース数	
	1日の投与スケジュール 処方例 (ショートハイドレーション)	2) \frac{1}{2} \fr	ラクテック 500m リルデム3A 500m 流酸Mg補正液20mE リルデム3A 500n パロノセトロン点滴請 ホスアプレピタント1 デキサート 6.6mg プリンペラン 10mg マンニットールS シスプラチン 主食 ラクテック 500mL リルデム3A 500m ごデキサート 6.6mg プリンペラン10mg 主食 50mL ラクテック 500m リルデム3A 500m	L 1本 Eq 8mL nL 1本 浄注バッグ 0. I 50mg 2 V 1 A 1本 250mL 1本 L 1本 1 V 1 A 1 本 L 1本 L 1本	DIV 10: DIV 11: 75mg 1袋 1V  DIV 13:( DIV 13:( DIV 16:; DIV 18:  DIV 18:  DIV 10:( DIV 11:;	00~11:30 30~13:00 00~13:30 30~14:30 30~16:30 30~18:00 00~19:30
	3) ソルデム3A 500mL 1本 DIV 11:30~13:00 CDDP:骨髄抑制(白血球減少、好中球減少)→G-CSF投与 嘔吐、悪心→制吐剤 腎機能障害→減量または中止					

レジメン名(略号)								
カルボプラチン+放射線								
抗癌剤	1日投	5量 投与法	投与時間	投与日				
1 カルボプラチン	AUC=	1.5 DIV	60分で	day1、8、15、22				
2			(照射開始30分前に終了する)					
3								
4								
5								
1コース期間 (次コースま 休薬の規定	での期間)	28日	総コース数					
Table   Ta								
副作用	血小板減少		₹、必要に応じ、G-CSFの投与 ₹、必要に応じ、血小板輸血 &与					

			レジメン名(略号)			
			PF療法			
	抗癌剤		1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	シスプラチン		80mg/m²	DIV	1時間	day1
2	5-FU		800mg/m²	DIV	24時間	day1~5
3						
4						
5						
1 ⊐	ース期間(次コースまでの期間) 休薬の規定		28日間		総コース数	
		DAY1				
	1日の投与スケジュール		ラクテック 500m		DIV 8:	30~10:00
	処方例		ノルデム3A 500m			
	(ショートハイト゛レーション)		流酸Mg補正液20mE	-		:00~11:30
			ノルデム3A 500m	•		:30~13:00
			パロノセトロン点滴			\tau_{\text{\tin}\exititt{\text{\tin}}}\\ \tittt{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\ti}\}\titt{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\tittt{\tititt{\text{\text{\text{\text{\texi}\text{\texi}\tint{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\text{\texi}\text{\texit{\
			hスアプレピタント1		1 V	
			デキサート 6.6mg			
			プリンペラン 10mg			: 00~13 : 30
			マンニットールS	1本		: 30~14 : 30
			シスプラチン	80 mg/m		
			主食	250mL	DIV 14	: 30~16 : 30
			5-FU	$800  \text{mg/m}^2$		
			<b>上食</b>	500mL		: 30~16 : 30
			ラクテック 500mL			: 30~18 : 00
			ノルデム3A 500m	L 1本	DIV 18	:00~19:30
		DAY2	_			
			デキサート 6.6mg			
			プリンペラン10mg	1 A	D" / C :	00 10:00
			E食 100mL ラクテック 500m	1本 L 1本		30~10 : 00 : 00~11 : 30
			ノンテック 500m ノルデム3A 500m			: 30~11 : 30
	副作用	骨髄抑制		隔変更		

レジメン名(略号)							
			TPF療法				
	抗癌剤		1日投与量	投与法	投与時間	投与日	
1	ドセタキセル		60mg/m²	DIV	1 時間	day1	
2	シスプラチン		70mg/m²	DIV	2時間	day1	
3	5-FU		750mg/m²	DIV	24時間	day1~5	
4							
5							
1 🗆	ース期間(次コースまでの期間)		O4 [7]		6/A 7 4/4		
	休薬の規定		21日間		総コース数		
	1日の投与スケジュール 処方例 (ショートハイドレーション)	2) \frac{1}{3} \fr	?ンニットールS !スプラチン 生食 5ーFU 生食 ラクテック 500mL ソルデム3A 500m	L 1本 Eq 8mL IL 1本 主バッグ 0.75 50mg 1 V 1 A 60mg/m 250mL 1本 750mg/m 250mL 750mg/m 250mL 1本 1 本 1 V 1 A 1 本	DIV 10: DIV 11: 5mg 1袋 1V  DIV 13:(	30~15:30 30~17:30 間で 30~19:00 :00~20:30 で で	
		骨髄抑 悪心、 腎機能					

			レジメン名(略号)				
		アー	-ビタックス(毎週)	十放射線			
	抗癌剤		1日投与量	投与法	投与時間	投与日	
1	アービタックス(セツキシマブ)		初回 400mg/㎡	DIV	2時間	day 1	
ļ	アーレタックス(ビバイグイグ)		2回目以降250mg/m <sup>2</sup>	DIV	1時間	uay i	
2							
3							
4	放射線療法						
1 🗆 –	-ス期間(次コースまでの期 間)		7日間	総コース数			
1	日の投与スケジュール	1)	ポララミン(5mg)	1 A			
	処方例		デキサート(8.8mg)	1 A			
			生食(50mL)	1本	DIV		
		2) アービタックス 250(400)mg/m <sup>*</sup>					
			生食(250mL)				
		3)	生食(50mL)	1本 フラ	ッシュ		
		内服	ミノマイシンCap 10	Omg 2C 회	月夕食後 7日分		
		皮疹を予防するお薬です					
		外用	キンダベート 5g	1本	1日2回 皮疹のは	出た所(顔)	
			マイザー軟膏 5g	1本	1日2回 皮疹の出	出た所(体)	
			ヒルドイドソフト軟膏 25g 1本 皮膚の乾燥したところ				
		* infu	usion reaction				
		軽	症・・・投与速度の減速など				
副作用		重度・・・投与を直ちに中止し、症状に応じた処置を行なう					
		* 皮」	膏症状・・・保湿剤、ステロイ	ド軟膏、ミノマィ	<b>シンなど</b>		
			減量・休薬など				
(上記の減量の及び中止基準投与間隔の変更規定)							
* 間質性肺炎							
			マグネシウム血症・電解質§	<b>里常</b>			
		*心		····			
		* 下;					
		*眼	语 障害(角膜炎等)				

	レジメン名(略号)									
		アービ	タックス(2週毎)	)十放射線						
	抗癌剤		1日投与量	投与法	投与時間	投与日				
1	アービタックス(セツキシマフ	")	500mg/m²	DIV	2時間	day1				
2										
3										
4	放射線療法									
1コース其	明間(次コースまでの期間)		14日間	総コース数						
1 🖯	の投与スケジュール 処方例	2) 2) 3) 内服 外用	アービタックス E食(250mL) E食(50mL) ミノマイシンCap 10 皮疹を予防する キンダベート 5g	1本 500mg/㎡ 1本 2 1本 5 00mg 2C 朝空 お薬です 1本 18	タ食後 7日ダ 32回 皮疹の出	出た所 (顔)				
			マイザー軟膏 5g ヒルドイドソフト軟膏							
副作用		軽症度 * と * に * に * に * に * に * に * で * で * で * で * で * で * で * で * で * で	グネシウム血症・電解質	、症状に応じた処 バ軟膏、ミノマイシ ・与間隔の変更規	ノンなど					

			レジメン名(略号)			
	J	<b>7ービ</b>	タックス(毎週)	+FP		
	抗癌剤		1日投与量	投与法	投与時間	投与日
1	アービタックス		初回 400mg/㎡	DIV	2時間	dov1 015
'	アーレタックス		2回目以降250mg/m	DIV	1時間	day1,8,15
2	シスプラチン		100mg/m²	DIV	2時間	day1
3	5-FU		1000mg/m²	DIV	24時間	day1∼4
4						
1 🗆 –	-ス期間(次コースまでの期間)		21日間		総コース数	
	休薬の規定				1100	
		DAY				
	1日の投与スケジュール		ラクテック 500ml		DIV 6:	30~8:00
	<b>処方例</b>	2)	ソルデム3A 500ml			
	(ショートハイドレーション)		硫酸Mg補正液20mEd		DIV 8:	00~9:30
		3)	ソルデム3A 500m			
			ポララミン5mg	1 A		30~11:00
		4)	パロノセトロン点滴静			
			ホスアプレピタント1	_	1 V	
			デキサート 6.6mg			
			プリンペラン 10mg			00~11:30
		5)	アービタックス	$250 \text{mg/m}^2$	2	
			生食	250mL	DIV 11:	30~12:30
		6)	マンニットールS	1本	DIV 12:	30~13:30
		7)	シスプラチン	$100 \text{mg/m}^2$		
			生食	250mL	DIV 13:	30~15:30
		8)	5-FU	$1000 \text{mg/m}^2$	(DAY1~	4)
			生食	500mL	DIV 15:	30~15:00
		9)	ラクテック 500mL	1本	DIV 15:	30~17:00
		10)	) ソルデム3A 500ml	L 1本	DIV 17:	00~18:30
			/2~3			
		1)	デキサート 6.6mg	1 V		
			プリンペラン10mg 生食 100mL	1A	DIV 10:	00-40:00
		2)	- 主良 TOOML - ラクテック - 500ml	1本 _ 1本		00~12 : 30 30~14 : 00
			ソルデム3A 500ml			00~15:30
			′ 8,15			
		1)	ポララミン5mg	1A		
			デキサート6.6mg 生食	1 V 50mL	DIV 711-7	$\overline{a}$
		2)	アービタックス	250mg/	/m <sup>t</sup>	
		2)	生食	250mL		分で
			生食 usion reaction	50mL	DIV	
		車	≧症・・・投与速度の減速			
副作用			重度・・・投与を直ちに中 電点は・・・保温剤 フラ			
		↑及檔	『症状・・・保湿剤、ステ 減量・休薬な		S7 Y1 7.	7.G.C
			の減量の及び中止基準		変更規定)	
			質性肺炎 7グネシウム血症・電角	经假卸货		
		*心毒		件具共币		
		*下塀	<u>-</u>			
		*眼障骨髓抑	章害(角膜炎等) 印制 : 頻回の血液	<b>広</b> 給本		
		同   腿北			↓に対しG-CS	SF使用
			嘔吐 : 制吐剤			, , , , ,
		腎機能	<u> </u>	適宜、利尿	剤使用	

			レジメン名(略号)				
	アー	ビタ	ックス + CBDCA	4 + 5FL	J		
	抗癌剤		1日投与量	投与法	投与時間	投与日	
			初回 400mg/㎡	DIV	2時間		
1	アービタックス		2回目以降250mg/㎡	DIV	1時間	day1,8,15	
2	カルボプラチン	AUC=5	DIV	1時間	day 1		
3	5 — FU		1000mg/m²	DIV	24時間	day1∼4	
4							
1 🗆	ース期間(次コースまでの期間) 休薬の規定		21日間		総コース数		
		DA'	Y1				
	1日の投与スケジュール	1	)ポララミン5mg	1	Α		
	処方例		デキサート6.6mg		1V		
	(ショートハイト゛レーション)		ホスアプレピタント	150mg	1V		
			パロノセトロン0.75	omg	1袋 メインから[	DIV(10:30)	
		2	)アービタックス	25	Omg/m²		
			生食250mL	1本 ケ	tt-7からDIV(10:	45-12:45)	
		3	)カルボプラチン	AUC	=5		
			生食250mL	-	1本 ケモセーフから	5DIV(12:45-13:4	
		4) 5-FU 1000mg/m²					
			生食500mL	1本 ケ	:Et-7からDIV(13:	45-13:15)	
5			)生食50mL		1本 メインからD	IV	
		DA'	<b>/</b> 8,15				
		1	)ポララミン5mg	1	Α		
			デキサート6.6mg		1V		
		生食50mL 1本 メインからDIV					
		2	)アービタックス	25	Omg/m²		
			生食250mL	1	本 ケモセーフから	DIV	
		3	)生食50mL	-	1本 メインからDI	V	
		内服	• 外用剤				
		ミノマ	マイシンカプセル100m	g 2カプセ	ル 分2 毎日		
				皮疹に1日2[			
			ザー軟膏 体の) ドイドソフト軟膏 1 ロ1		<b>回</b> 塗巾		
		*inf	ドイドソフト軟膏 1日1 usion reaction 軽症・・・投与速度の減速				
	副作用		重度・・・投与を直ちに中		こ応じた処置を	行なう	
		*皮	雪症状・・・保湿剤、ステ バラ 体帯を		ミノマイシン	など	
			減量・休薬な の減量の及び中止基準 質性肺炎		変更規定)		
		*心	<b></b>				
	* 下痢						
	*眼障害(角膜炎等)						
		骨髓			↓に対しG-CS	F使用	
			嘔吐 : 制吐剤			I  X/ J	
				適宜、利尿	剤使用		

			レジメン名(略	동号)					
			アービタック	ス単剤					
	抗癌剤		1日投与量	投与法	投与時間	投与日			
1	アービタックス(セツキシマブ)		500mg/m²	DIV	2時間	day 1			
2									
3									
4									
1 コース期	間(次コースまでの期間)		14日間	総コース数					
1 ⊟ σ.	D投与スケジュール	1)ポ <del>ラ</del>	ララミン(5mg)	1 A					
	処方例	デキ	チサート(8.8mg)	1 A					
		生食	€(50mL)	1本	DIV				
		2) アー	ービタックス	500mg/m²					
		生食(250mL) 1本 2時間でDIV							
		3)生1	(50mL)	1本 フ	ラッシュ				
		内服	ミノマイシンCap	100mg 2C	朝夕食後 7日2	<del>/</del>			
			皮疹を予防	するお薬です					
		外用キ	ンダベート 5g	1本	1日2回 皮疹のと	出た所(顔)			
		マイザー軟膏 5g 1本 1日2回 皮疹の出た所(体)							
		٤	こルドイドソフト	饮膏50g 1本	皮膚の乾燥した	きところ			
		* infusion	n reaction						
		軽症·	・・投与速度の減過	きなど					
副作用		重度·	…投与を直ちに中	止し、症状に応じ	た処置を行なう				
		* 皮膚症	状・・・保湿剤、ス <del>-</del>	テロイド軟膏、ミノ	マイシンなど				
			減量・休薬など						
		(上記の源	域量の及び中止基	準投与間隔の変	更規定)				
	*間質性肺炎								
	* 低マグネシウム血症・電解質異常								
		* 心毒性							
		*下痢							
		*眼障害	(角膜炎等)						

	レジメン名(略号)											
		7	アービタックス(	毎	週)+F	$^{ m PT}$	(					
	抗癌剤		1日投与量		投与法	Ļ	投与問	間		投与		
1	1 アービタックス(セツキシマブ)		初回 400mg/	m²	DIV		2時	間	day1.	0	15	22
'	アー <b>に</b> タックス(E)オパ/ /		2回目以降250mg/	m²	DIV	✓ 1時間		間	uay I.	0.	15.	22
2	パクリタキセル	80mg/m <sup>2</sup>		DIV		1時	間	day1.	8.	15.	22	
3												
4												
1 🗆 —	ス期間(次コースまでの期 間)	28日間		総コース	ス数							
1	日の投与スケジュール	1)	ポララミン(5mg)		1 A							
	処方例		デキサート(6.6mg)		1 A							
			生食(50mL)		1本		DIV					
		2)	アービタックス	2	50(400	) mg	/m²					
			生食(250mL)		1本	1時	時間(2時間)	でDIV				
		3)	ファモチジン(20mg)		1A							
			デキサート(6.6mg) 0.5V									
			生食(50mL)		1本		DIV					
		4) 生食(100mL) 1本 30分でDIV										
		5) パクリタキセル 80mg/㎡										
			5%ブドウ糖(250mL) 1本 DIV									
		6)	生食(50mL)		1本							
		内服	ミノマイシンCap	100	)mg 20	朝	夕食後	7日分				
			皮疹を予防す	するな	お薬です							
		外用	キンダベート 5g		-	本	1820	皮疹の	出た所	(顔)		
			マイザー軟膏 5g				1820	皮疹のと	出た所(	体)		
i.		膏 2	.5g 14	ķ.	皮膚の	乾燥した	ところ					
		* info	usion reaction									
軽症・・・投与速度の減速など												
副作用			重度・・・投与を直ちに中止し、症状に応じた処置を行なう									
	* 皮膚症状・・・保湿剤、ステロイド軟膏、ミノマイシンなど 減量・休薬など											
		減量・体条など (上記の減量の及び中止基準投与間隔の変更規定)										
		*間質性肺炎										
		* 低 * 心	マグネシウム血症・電解 <sub>毒性</sub>	貨勇	常							
		*下	痢									
		*眼	障害(角膜炎等)									

レジメン名(略号)										
				オフ	゚゚゚゚゚゙ジーボ					
	抗癌	剤	1日投	设与量 投与法 投与時間			投与日			
1	オプジ	ーボ	240mg/	Body	DIV	30分	day1 (14日毎)			
2	また	480mg/	Body	DIV	30分	day1 (28日毎)				
3										
4										
5										
	1 コース期間(次コース までの期間)休薬の規定 480mg28日毎				総コース数		PDまで			
		フィルター付輌	渝液セット	を使用	<u>   する</u>					
		1)ポララミン	/(5mg)		1 A					
1日の担	役与スケジュール	生食(50m	nL)		1本	10分でDIV				
	処方例	2) 生食(50m	nL)	1本 フリー						
3) オプジーボ				240 mg/Body (480 mg/Body)						
	生食(100mL)				1本	1時間でDIV				
		4) 生食(50m	nL)		1本	フラッシュ				
		間質性肺炎								
副作用		重症筋無力症、								
		大腸炎、重度の	下痢							
		1型糖尿病								
		肝機能障害、肝炎	- 1	必要に応じ、専門医と連携して、本剤の中止など適切な処置を行う。						
		甲状腺機能障害	<u> </u>	必要に応じ、ステロイドや免疫抑制剤を投与する。 						
		神経障害								
	<b>腎障害</b>									
		副腎障害	) *** = ====							
				重積にはフェニトイン、ジアゼパム、脳浮腫に対してはグリセロール、ステロイドなど。						
	重度の皮膚障害・・・・ 血漿交換法や免疫が ロブリン大量投与が必要になる場合もある。									
	静脈血栓塞栓症 ・・・ 抗凝固療法、血栓溶解療法、血管内治療法、手術療法等を検討する。 Infusion reaction ・・・・ 注入速度を緩めるか中止。症状に応じて薬剤投与。									
		ぶどう膜炎・		り投与を	を中止し、眼科	4への受診を勧	<b>න</b> රු			
	血小板減少、貧血									

			レジメン名(略号)							
	カルボプ	ラチン	+パクリタキセ	:ル【3週間	9年】					
	抗癌剤		1日投与量	投与法	投与時間	投与日				
1	パクリタキセル	200mg/m²	DIV	3時間	day1					
2	カルボプラチン		AUC=6	DIV	1時間	day1				
3										
4										
5										
1 🗆	ース期間(次コースまでの期間) 休薬の規定		21日間		総コース数					
		DAY1								
	1日の投与スケジュール	1)	デキサート 6.6mg	3V						
	処方例	-	ファモチジン20mg	1 A						
	(ショートハイト゛レーション)	<u> </u>	主食(50mL)	1本	DIV					
		2)パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1袋								
		ホスアプレピタント150mg 1V DIV 30分								
		3) パクリタキセル 200mg/㎡								
		į	5%ブドウ糖(500mL)1本 DIV 3時間							
		4) :	4)カルボプラチン AUC=6							
		3	生食(250mL)	1本	DIV 1時	間				
		5)	生食(50mL)	1本	フラッシュ					
		内服	内服 レスタミンコーワ錠10mg 5錠 分1 1日分							
			パクリ	タキセル投	∋30分前に					
		DAY2	DAY2より内服							
		内服 デカドロン錠4mg 2錠								
		ファモチジンOD錠10mg 2錠 分2 3日分								
		好中球洞	好中球減少 ··· 減量、休薬、必要に応じ、G-CSFの投与							
副作用	∃	血小板減少 ・・・ 減量、休薬、必要に応じ、血小板輸血								
	悪心・嘔吐 ・・・ 制吐剤の投与									
	しびれ ・・・ 休薬、減量、薬剤投与									
			Jリカ、サインバルタ ・・・ モービック錠、		ク、牛車腎気丸	、メチコバールな				

			レジメン名(略号)							
	カルボン	プラチン	/+ドセタキセ/	レ【3週間	毎】					
	抗癌剤		1日投与量	投与法	投与時間	投与日				
1	ドセタキセル	70mg/m²	DIV	1時間	day1					
2	カルボプラチン		AUC=5	DIV	1時間	day1				
3										
4										
5										
1 🗆	ース期間(次コースまでの期間) 休薬の規定		21日間		総コース数					
		DAY1								
	1日の投与スケジュール	1)	デキサート 6.6mg		3V					
	処方例	7	ポララミン5mg		1 A					
		ホスアプレピタント150mg 1V								
		パロノセトロン点滴静注バッグ 0.75mg 1袋								
		2)	2) ドセタキセル 70mg/m <sup>3</sup>							
		3	生食(250mL)	1本	DIV 1時間					
		4);	カルボプラチン	AUC=5						
			生食(250mL)			目				
		5)	生食(50mL)	1本	フラッシュ					
			DAY2より内服							
		内服 デカドロン錠4mg 2錠								
			ファモチジンOD錠							
	_	好中球減少 · · · 減量、休薬、必要に応じ、G-CSFの投与								
副作用	=	血小板減少・・・・減量、休薬、必要に応じ、血小板輸血								
		悪心・嘔吐・・・・制吐剤の投与								
		しびれ・・・・休薬、減量、薬剤投与								
		(リリカ、サインバルタ、モービック、牛車腎気丸、メチコバールなど)								
			・・・・モービック錠、	、勺楽甘草湯						
		口内炎 脱毛								
		肬七								

レジメン名(略号)									
/\-	ーセプ	チン+ドセタキ	セル療法						
抗癌剤		1日投与量	投与法	投与時間	投与日				
1 ハーセプチン	ハーセプチン			90分	day1				
2		(初回8mg/kg)		(30分まで短	縮可)				
3 ドセタキセル		70mg/m²	DIV	1時間	day1				
4									
5									
1 コース期間(次コースまでの期間) 休薬の規定		21日間		総コース数					
1 日の投与スケジュール 処方例	2) // 生理 3) 生 4) 5 5) h 6) 生	理食塩液 50mL ハーセプチン 理食塩液 250mL 主理食塩液 50mL デキサート6.6mg 主理食塩液 50mL ドセタキセル 主理食塩液 250mL 三理食塩液 50mL	6mg/kg(初 1本 1本 1本 70mg/㎡ 1本 1本	90分でDIV(30 1時間で	DIV DIV CDIV DIV				
好中球減少 ・・・ 減量、休薬、必要に応じ、G-CSFの投与  ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・									

レジメン名(略号)										
			オプジー	ボ +	ヤーボ	イ				
	抗癌剤			5量	投与法		投与時間	投与日		
1 7	オプジーボ			80mg/Body		<b>V</b>	30分	day 1		
	ヤーボイ		3mg/	kg	DI	<b>V</b>	30分	day 1		
┃ 1コース期間(次コー 間)休薬の規	期間(次コースまでの期 21日 引)休薬の規定				総コー	·ス数	4コース			
	-	フィルター	-付輸液セッ	/トを使用	目する					
		1) ポラ	ラミン(5mg	)	1 A					
1日の投与スケジ	<sup>)</sup> ュール	生食(	50mL)		1本					
処方例	:	2) 生食(	50mL)		1本	フリ-	_			
	;	3)オプ:	ジーボ		80mg	Body				
		生食(	100mL)		1本	1 時間	りでDIV			
	4) 生食				1本	30分	でDIV			
	5) ヤー7				3mg	g/kg				
	生食(				1本	305	∂でDIV			
	6) 生食(5)				1本	フリー	•			
	F	間質性肺炎	<u>ر</u>							
副作用	<u>=</u>	重症筋無力症、筋炎								
		大腸炎、重度の下痢								
	-	1型糖尿病								
	Æ	肝機能障害	、肝炎	必要に応じ、専門医と連携して、本剤の中止など適切な処置を行う。						
	E	甲状腺機能	能障害	必要に応じ、ステロイドや免疫抑制剤を投与する。						
	1	神経障害								
	腎障害									
副腎障害			J							
脳炎 · · · 痙攣発作、			痙攣発作、重	重積にはフェニトイン、ジアゼパム、脳浮腫に対してはグリセロール、ステロイドなど。						
	障害 …	・ 血漿交換法や免疫グロブリン大量投与が必要になる場合もある。								
静脈血栓塞栓症 ・・・ 抗凝固療法、血栓溶解療法、血管内治療法、手術療法等を検討する。										
							こ。症状に応じて	薬剤投与。		
				剤の投与	を中止し、	眼科への	受診を勧める。			
	1	血小板減少	少、貧血							

レジメン名(略号)										
			オ	プジーボ						
	抗癌		1日投与量	投与法	投与時間	投与日				
1	オプジ	ーボ	240mg/Body	DIV	30分	day1 (14日毎)				
2	また	は	480mg/Body	DIV	30分	day 1 (28日毎)				
3										
4										
5										
1コー:までの!	ス期間(次コース 期間)休薬の規定	240mg14 480mg	日毎または <b>、</b> 328日毎	総コース数		PDまで				
		フィルター付輌	渝液セットを使	<u>用する</u>						
		1)ポララミン	/(5mg)	1 A						
1日の担	役与スケジュール	生食(50m	nL)	1本	10分でDIV					
	処方例	2) 生食(50m	nL)	1本 フリー						
		3)オプジーオ	"	240 mg/Body (480 mg/Body)						
		生食(100	mL)	1 本 1 時間でDIV						
		4) 生食(50m	nL)	1本	フラッシュ					
		間質性肺炎								
副作用		重症筋無力症、								
		大腸炎、重度の	下痢							
		1型糖尿病								
		肝機能障害、肝炎	1	必要に応じ、専門医と連携して、本剤の中止など適切な処置を行う。						
		甲状腺機能障害		必要に応じ、ステロイドや免疫抑制剤を投与する。						
		神経障害								
		腎障害 1000000000000000000000000000000000000								
		副腎障害	J							
				直積にはフェニトイン、ダアゼパム、脳浮腫に対してはグリセロール、ステロイドなど。						
	重度の皮膚障害・・・・ 血漿交換法や免疫が ロブリン大量投与が必要になる場合もある。									
	静脈血栓塞栓症 ・・・ 抗凝固療法、血栓溶解療法、血管内治療法、手術療法等を検討する。 Infusion reaction ・・・・ 注入速度を緩めるか中止。症状に応じて薬剤投与。									
				を中止し、眼科	4への受診を勧	<b>හ</b> රු				
		血小板減少、貧	<b>∮</b> Ш							